



IUFRO-J NEWS

No. 86 (2005.12) —

2005年IUFRO世界大会の報告

IUFRO-J事務局

去る2005年8月8日～13日に、オーストラリアのブリスベン市で第22回目のIUFROの世界大会が開催された。南半球で世界大会が開かれるのはIUFROの113年の歴史の中ではじめてのことであった。

この大会のテーマは、Forest in the Balance : Linking Tradition and Technology (伝統と技術の調和の下での森林)であった。大会事務局の発表によると、参加者は、96カ国から2,100名、口頭発表700件、ポスター発表700件であった。なお、日本からも113名(同僚者を除く)が参加した。

大会プログラムに先立って行われた植樹祭とオープニングセレモニーではオーストラリアの先住民であるアボリジニの方々の演奏と踊りが披露された。独創的な管

楽器のディジュリドゥ(シロアリによって中空になった長さ1～1.5mの木を利用して制作される)独特の低音が印象的であった。アボリジニの人々の暮らしは自然と人間の調和を象徴しており、この大会のテーマ(伝統と技術の調和)とマッチしていたと思う。

オープニングセレモニーでは、IUFRO会長Risto Seppälä氏の挨拶があった。この挨拶で氏は森林・林業セクターをとりまく世界情勢の変化と林業研究・教育の厳しい状況に言及した。氏は森林林業研究の問題点として、「森林・林業研究者は、森林に関連する研究のほとんどを独占してきた。その結果、長らく閉じた共同体でありつづけた。林学以外のバックグラウンドを持つ科学者に協力することなく、むしろ、敵とは言わないまでも競



写真-1 ブリスベン市街



写真-2 IUFRO 記念植樹 郷土樹種の植栽

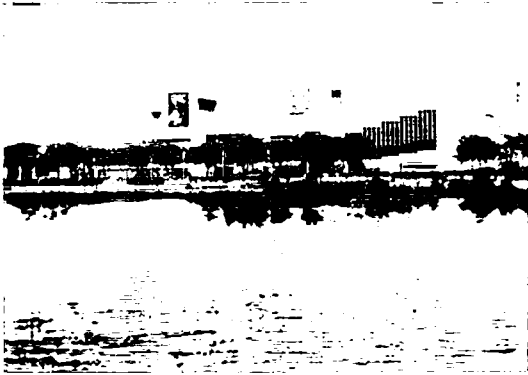


写真-3 IUFRO世界大会が開かれたエキスポビションセンター

争相手と見なしてきた」ことにあるとした。

また、氏は、「IUFROの基本的な役割は、物理的に、實際上、科学者同士が出会う場の提供にあった。ところで科学的な情報が、政策立案者やその他の顧客の知識やノウハウに翻訳されなければ、科学的な知見や成果はあまり価値がない。研究成果が、あらゆるレベルの意志決定や森林経営に用いられることが、研究共同体にとってほんとに価値があることである」と主張された。

こうしたIUFROの課題について、本大会ではPresident's Discussionの場で論議された。

以下、今大会の概要を簡単に示す

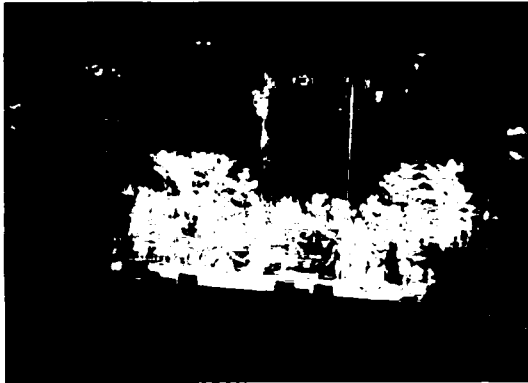


写真-4 オープニングセレモニー アボリジニの演奏と踊り



写真-6 会場



写真-5 オープニングセレモニー IUFRO会長挨拶

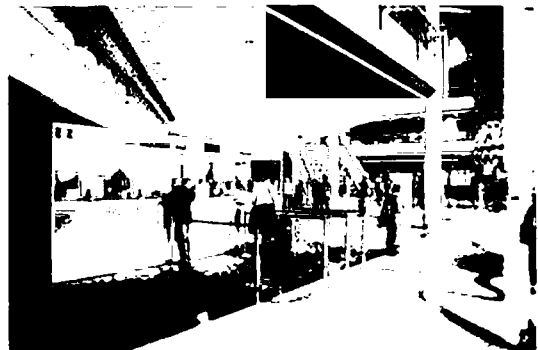


写真-7 会場(受付)

基調講演

8月8日 (月)

Ariel E Lugo, フエルトリコ：“Conservation challenges to tropical forestry. (熱帯林保全への挑戦)”

8月9日 (火)

Eugene Van As, 南アフリカ：“The importance of wood science and forest science in helping developing countries develop viable forest industries. (開発途上国の林産業の発展援助に重要となる木材科学・森林科学)”

8月10日 (水)

Joseph Gosnell, カナダ：“Harvesting and Management of Natural Resources under the Nisga's Final Agreement. (ニスガの最終合意における自然資源の利用と管理)”

8月12日 (金)

Lisa Sennerby Forsse, スウェーデン：“The role of science in developing sound environmental policies that transcend national boundaries. (国境を越えた適切な環境政策の発展における科学の役割)”

8月13日 (土)

Tricia Caswell, オーストラリア：“The contribution of forest industries to global sustainability. (地球規模の持続性に対する森林関連産業の貢献)”

President's Discussion での講演 (8月10日 (水))

・ Peter Mayer, オーストリア, IUFRO 理事：“Global Situation and Trends in Forest-Related Research (森林関連研究での地球規模の実情と傾向)”

・ Joseph R. Cobbinah, ガーナ, 森林研究所所長：“Research to Cope with Global Changes: Issues, Challenges and Opportunities for Africa (地球変動に対応した研究：アフリカにおける課題、挑戦と機会)”

・ Razak Mohd. Abd. Ali, マレーシア, マレーシア林業研究所所長：“Forestry Research to Cope with Global Changes -The South East Asian Scenario (地球変動に対応した林業研究-東南アジアのシナリオ)”

・ Lisa Sennerby-Forsse, スウェーデン, スウェーデン環境、農業科学、空間計画研究評議会議長：“Forest Research Issues in the Nordic Countries (北欧における森林研究の課題)”



写真-9 報告の様子

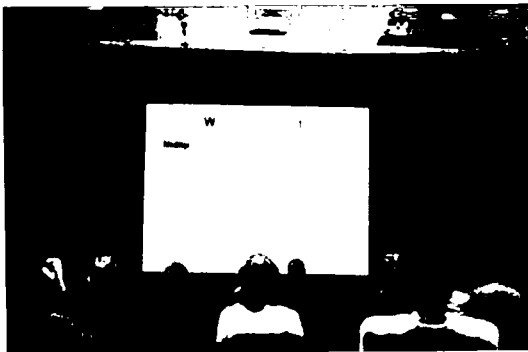


写真-8 報告の様子



写真-10 エクスカーション ユーカリ植林地

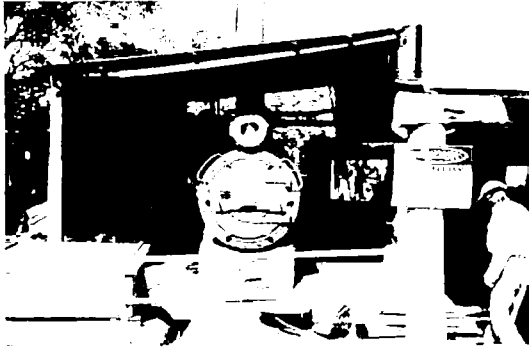


写真-11 エクスカーション ユーカリの製材所
廃線になった蒸気機関車を動力としてユーカリからダンネージを製材



写真-12 エクスカーション ワラビー

・ José J. Campos, コスタリカ, CATIE: “Forest Research Issues in Latin America (ラテンアメリカにおける森林研究の課題)”

・ Thorry Gunnensen, オーストラリア, 森林, 木材産業研究, 開発協力議長: “Australian Approaches to Industry Partnerships in Forest Industries Research (オーストラリアのアプローチとしての森林関連産業研究における産業パートナーシップ)”

Directors' Forum (代表者会議) (8月10日 (水))

研究, 教育機関の代表者が, 共通の課題と問題点を話し合い, 研究, 教育機関間のさらなる協力を図るために集まった。この代表者会議は, 地球規模を視野に入れた最初のものである。代表者会議での報告者と報告のタイトルは下記のとおりである。

・ Dr. Harald Mauser, オーストリア連邦森林, 自然災害, 景観研究・トレーニングセンター (BFW) 所長, オーストリア: “Introduction: European collaboration (導入: ヨーロッパでの協力)”

・ Dr. David Kaimowitz, 国際林業研究所 (CIFOR) 所長, インドネシア: “Future of Tropical Forests, Old and New: Linking Science, Markets and People (熱帯林の将来, 古きと新しき: 科学, 市場, 人々との関係)”

・ Dr. Ann M. Bartuska, USDA山林局副署長, アメリカ: “Emerging Themes for Natural Resources Research and

Sustainability in the United States (アメリカにおける自然資源研究と持続性から出てきたテーマ)”

・ Dr. Rick Ede, 科学, 産業研究機関連合 (CSIRO) 林業林産業部門長, オーストラリア: “Ensis-Joining Forces for Trans-National Benefit (Ensis-国を超えた利益のための協力)”

・ Dr. James Lynch, イギリス林業委員会林業部門長, イギリス: “Forestry, Biological Resource Management and OECD (林業, 生物資源管理と経済協力開発機構)”

Decisions of the International Council (国際委員会での決定事項)

○新しいメンバー

選出会長: Don Koo Lee, 韓国

選出副会長 (政策担当): John Innes, カナダ

選出副会長 (科学担当): Niels Elers Koch, デンマーク

○新しい役員

部会コーディネータ

第1部会: Björn Hanell, スウェーデン

第2部会: Bailian Li, アメリカ

第3部会: Hans Heinimann, スイス

第4部会: Margarida Tome, ポルトガル

第5部会: Cathy Wang, 台湾

第6部会: Perry Brown, アメリカ

第7部会: Mike Wingfield, 南アフリカ

第8部会: Alex Mosseler, カナダ

理事会 (General Board Members)

Mohammed Ellatifi (モロッコ), Vitor Hoeflich (ブラジル), Roberto Ipinza (チリ),

Su See Lee (マレーシア), Shirong Liu (中国), 中静透 (日本),

Piotr Paschalis-Jakubowicz (ポーランド),

Heinrich Spiecker (ドイツ),

Victor K. Teplyakov (ロシア)

○2010年IUFRO世界大会の開催地

韓国, ソウル市

表彰

○名誉会員

Jeffery Burley (前会長),

Heinrich Schmutzenhofer (元事務局長),

Les Whitmore (元副会長)

○ベストポスター賞

・第1部会: Poster #669: "Long-term effects of forest fertilization on ground vegetation in the northern Black Forest, Germany (ドイツ北シュバルツバルトにおける林床植生に対する林地肥培の長期にわたる効果)" Carl Hocke, Freiburg University, ドイツ

・第2部会: Poster #18: "Overcoming biological barriers to hybrid seed production in Eucalyptus (ユーカリのハイブリッド種子生産による生物学的障害の克服)" Tasmien Horsley, Terry Stanger, Sappi Forests Research; S. Johnson, University of Kwa Zulu-Natal, 南アフリカ

・第3部会: Poster #473: "Decomposition of coarse woody debris in the boreal forest of interior Alaska (アラスカ内陸部の北部森林における粗悪な木質破片の腐朽)" John Yarie, University of Alaska, Fairbanks, Alaska, アメリカ

・第4と6部会: Poster #682: "Economic analysis of carbon sequestration on stand level (立木段階での炭素隔離の経済分析)" Johanna Pohjola, Finnish Forest Research Institute; L. Valsta, J. Mononen, University of Helsinki, フィンランド

・第5部会: Poster #16: "Evaluation of five reforestation species for manufacture of oriented strand board



写真-13 ゴールドコースト

(OSB生産のための5つの再造林樹種の評価)" Nigel Lim, Y. K. Pek, Sarawak Forestry Corporation, マレーシア

・第5部会: Poster #799: "Improvement of the acoustic properties of Sitka spruce with chemical treatment (化学処理によるシトカトウヒの音響特性の改良)" Chih-Lung Cho, S.-Y. Wu, S.-U. Yeh, National Ilan University, 台湾

・第7部会: Poster #836: "Managing intensively grown, irrigated hybrid poplars based on clonal susceptibility to Poplar/Willow borer Cryptorhynchus lapathi (Curculionidae) (ポプラ/ヤナギ木喰い虫に対するクローン感受性にもとづくハイブリッドポプラの管理)" Eugene Hannon, N.T. Kittelson, J. J. Brown, Washington State University, アメリカ

・第8部会: Poster #521: "Soil biodiversity and nutrient turnover in different forest types of Central Europe (中央ヨーロッパの種々の森林タイプにおける土壌の生物多様性と栄養分)" Sophie Zechmeister-Boltenstern, M. Pfeffer; Forest Research Centre; A. Bruckner, University of Life Sciences; W. Foissner, University of Salzburg; E. Hackl, A. Sessitsch, Austrian Research Centres; N. Milasowszky, W. Waitzbauer, University of Vienna, オーストリア

・タスクフォース「炭素循環, 隔離, 蓄積における森林の役割」: Poster #210: "Spring phenology of Norway

spruce (*Picea abies* (L.) Karst.) at ambient and elevated [CO₂] and temperature (ノルウェイトウヒの生物季節と高まるCO₂と気温)” Michelle Slaney, Swedish University of Agricultural Sciences, Sweden; J. Medhurst, CRC/CSIRO Forestry, Australia; S. Linder, Swedish University of Agricultural Sciences, Sweden; G. Wallin, Goteborg University, スウェーデン

○IUFRO 貢献賞

Gary Bacon (大会組織委員会委員長),

John Innes (大会科学委員会委員長),

Keith Rennolls (4.03.00 (情報・モデリング・統計) 代表),

Eric Teissier du Cros (IUFRO 副会長 (科学担当))



写真-14 グレートバリアリーフ (機内から)

< IUFRO-J News への寄稿のお願い >

会員の皆様のご協力により「IUFRO-J News」の発行も順調に進んで参りました。これからもニュースの内容を充実させるために、IUFROの研究集会などの開催予定や参加した集会の内容紹介など、会員に広く知らせたい事柄について記事をお寄せください。また、研究集会などに参加予定、または参加された方を紹介いただければ、事務局から執筆のお願いをすることもできます。会員相互の情報交換の場として「IUFRO-J News」をどうぞご活用ください。

(事務局)

IUFRO研究集会事務局・参加助成実施要領

対象集会：IUFRO関連研究集会（参加費助成は、海外での研究集会に限ります。ただし、世界大会への参加助成はいたしません。事務局費助成は、事務局が日本にある場合に限ります。）

助成金額：事務局：20万円/団体、
集会参加：10万円/人 を目途とします。

応募資格：会費を納入している機関、会員

- 会則第5条に則り、研究者登録をお忘れ無くお願いします。事務局で会費納入を確認できない方は助成の対象にできません。
- 研究集会参加は筆頭発表者に限ります。

募集：随時受け付け、毎年12月末現在で集計します。募集対象となる研究集会は、集計時の翌年4月から翌々年の3月までに開催される研究集会です。別添申請書に必要事項を記入し、必要資料を添付して、下記まで送付。
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1番地 森林総合研究所内
IUFRO-J事務局 宛

選考：12月末現在で集計し、募集対象となる研究集会を選考対象として選考委員会に諮ります。

選考結果：IUFRO-J Newsで発表。

配布時期：原則として集会開催1ヶ月前。

（国際集会の場合、キャンセルになる場合もありますので、できるだけ直前とします。）

備考：助成を受けた機関・会員にはIUFRO-J Newsへの投稿を求めます。

注意：助成金額はあくまで目途です。

IUFRO-J一般会計の収支状態によって、事務局で勘案いたします。

附 則：

（平成9年4月施行通知、初出IUFRO-J News No.61）

（平成9年7月10日 IUFRO-J News No.61掲載一部改訂）

（平成13年8月 IUFRO-J News No.73掲載一部改訂）

（平成17年7月 IUFRO-J News No.85掲載一部改訂）

事務局からのお知らせ

1. IUFROの日本人理事、役員

先の第22回2005年IUFRO世界大会の際に開かれた国際委員会においてIUFROの理事、役員が決定されました。日本からは下記の方々を選出されました。理事、役員の方々のご活躍を期待するとともに、理事、役員の方々に対するIUFRO-J会員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

理事 (General Board Member)

中静 透 (総合地球環境学研究所・教授)

拡大理事会メンバー

第3部会 Deputy Coordinator

酒井秀夫 (東京大学北海道演習林・教授)

第4部会 Deputy Coordinator

吉本 敦 (東北大学大学院環境科学研究科・助教授)

第7部会 Deputy Coordinator

鎌田直人 (金沢大学大学院自然科学研究科・助教授)

2. IUFRO会長から森林総合研究所への賞状

IUFRO会長 Risto Seppälä氏から森林総合研究所創立100周年に際し、100周年を記念する賞状が送られました。

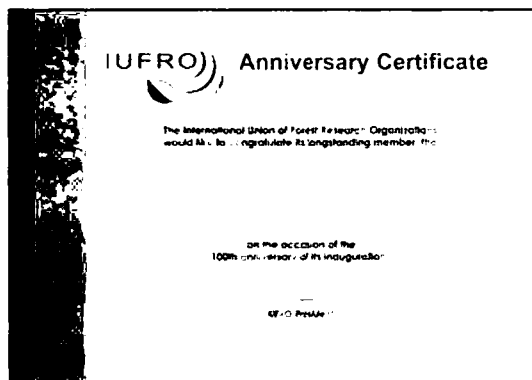


写真 IUFRO会長からの賞状

IUFRO-J News No. 86 平成17年12月20日
国際森林研究機関連合-日本委員会事務局
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
森林総合研究所内
TEL 029-873-3211 (232) [編集・発行]